



『小児科は小児の総合診療医、いろんな疾患を全部みることができる！』

- ✓ 山梨大学小児科は、山梨県内の主要な小児医療機関の基幹施設です。
- ✓ 山梨県小児救急医療の三次医療機関として、全ての領域において医療を完結できるように努めています。
- ✓ 研究面では、国内・国際学会での発表、英文論文報告を積極的に行い、小児医学の発展に努めています。
- ✓ 教育面での充実を目指し、山梨県の小児地域基幹施設で共通したポートフォリオ教育を導入しています。
- ✓ 小児科専門医をはじめ、様々なサブスペシャリティの専門医資格を取得できます。

プログラムの概要

山梨大学小児科では、主要な専門診療グループをスーパーローテーションすることで、小児科専門医に必要な主要10分野を全て経験することができ、専門医資格に必要な研修を行うことができます。

小児科初期診療、小児二次救急医療、感染症などの診療に関しては、山梨県立中央病院などの地域基幹病院に小児科医として勤務して、研修を行います。

サブスペシャリティ専門医を目指す場合には、重点コースおよび選択コースで希望する分野を重点的に研修することができます。



山梨大学小児科の専門診療グループ

重点項目3分野

アピールポイント

小児科と新生児集中治療部(NICU)のスタッフが連携して、患者の診療や教育に務めており、研修のサポート体制は充実しています。小児科病棟30床、NICU6床、GCU12床の患者さんの診療が可能です。子ども達がリラックスして入院生活を送ることで、ご家族と信頼関係を築くことができるような環境作りに努めています。

山梨県内の関連10病院における小児科医数は平均6.4人と施設あたりの人員は充実しています。

小児救急体制の整備も進んでおり日本医師会の特別賞を受賞するなど、国内でも先進的な小児救急医療体制を整えています。

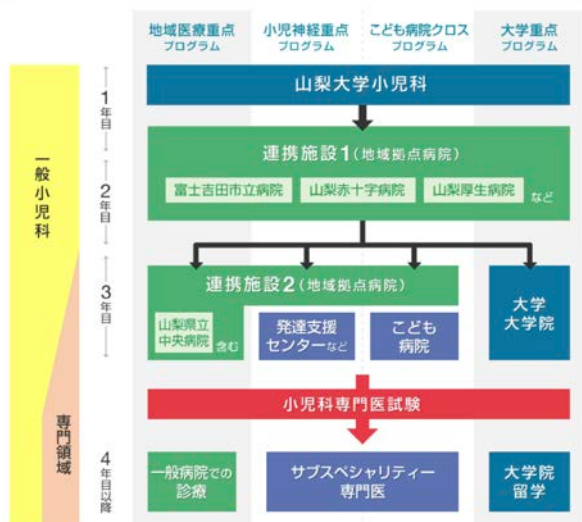
育児短時間勤務、ワークシェアリングの体制もあり、育児中の医師にも対応した環境を整備しています。

研究のアクティビティは高く、各領域の学会における演題数は上位に位置し、トップジャーナルに論文が採択されています。

後期研修開始式

具体的な研修内容

山梨大学小児科後期研修の4つのプログラム

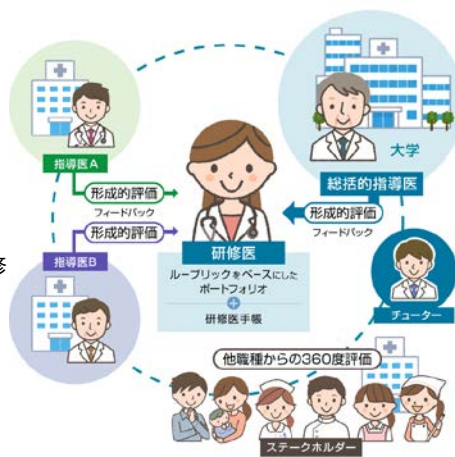


大学病院と山梨県内外の、主要な地域基幹病院をローテーションして研修を行います(左)

研修内容について、チューターや研修先の指導医と一緒に、ポートフォリオを作成して、研修の記録と評価を行います(右)

後期研修のイメージ

プログラム責任者(医局長)
研修責任者(教授)



ルーブリックによる 総括的評価：研修終了判定